

Ref. Doc. 2136

Eng. stencil finished

Atankis
Interview with
A.P.

二聯合通信特派員ト、會見記

陸軍中將荒木 ^{陸相} ~~陸軍大臣~~、一九三三年二月二十一日

聯合通信社特派員ハウ氏ト會見シテ

其ノ際ハウ氏ノ提出セル質疑トソレニ對

スル陸軍大臣ト、回答ヲ下記ニ掲ゲル

問 滿洲ノ日本陸軍部隊、現在 ^{在滿} 兵力ヲ

永久的ニ維持スル積リテスカ

答 日本ハ條約ニ依リ滿洲ニ駐兵權ヲ有

シテ斗ル 從テ勿論日本ハ條約ノ範

圍内ニ於テ軍隊ヲ永久的ニ駐屯

セシムルデアラウ 併シ現在ノ兵力

ヲ維持スルカ否カハ、ニ懸、ッテ滿洲ノ

狀況如何ニヨル事デ今

スル事ハ出来ナイ

唯現在ニ於テハ

満蒙ノ状況ハ著シク変化シテ居
ルノデ 此ノ変化ニ対応シテ兵力ハ
ドノ位ガ適當カト云フ事ハ充分研
究スルニ由リ西サガアルト云フ事ハ附言
シテモ良イト由ク

問 現在ノ兵力ハ幾許デスカ

答 事麦死生前ノ職道守備隊ガ一万四千

居リマシタ 其ニ増援部隊ガ一万四千六百

加リテ總計ニ万二千ニナリタ譯テス 此ノウチ

騎兵隊ノ一部ハ既ニ内地ニ歸還

シマシタ

問 今後在滿部隊増強ノ計劃ガ

アリマスカ

三

答 其ハ現地ノ状況次ヲデ決定スル事

ニス 併シ乍ラ既ニ在滿部隊ノ或ル

モノハ非常ニ疲レテ居ルノデ何トカシナ

ケレバナラナイ様標ヲス

問 現在(行勅中ノ)室中將ノ師團ノ代リニ朝鮮

カラ一個師團ニカ派遣スル計劃ガアリヌカ

答 現在ノ處左様ノ計劃ハアリマセン

併シ朝鮮ノ二個師團ニ更ニ一ヶ師

團ヲ内地カラ増加スル計劃ハアリマス

ガ之ハ軍事上ノ要請ニ基テ

朝鮮半島ノ国防強化ノ為ナデ

アリテ現在ノ滿洲問題トノ関連ハ

アリヌヤカラ(特ニ^{コト}点ハ)才間邊ノ無ク様

才強ヒシマス 尚此ノ端成替ハ

モ今ノ所子延期ニナリニシタト云フ

ハ、議會解散ノ為メ豫算ガ

通過ニナカシテ許リテ無ク、現在ノ滿洲

蒙古、支那ノ現状ニ鑑ミ、^{此際}師團ノ教

又ハ陸軍ノ編成ニ変更ヲ加ヘル事ハ

~~此際~~其ノ真意ヲ誤解サレシ

~~恐シガアルトテ止メタ~~ト考ヘタカラデアリマス 又軍

備ノ変更ト云フ標十問題ハ滿蒙

ノ變化ニシテ、^{新ニイテ}対応ニテ考慮

スル^{軍が出来る}並保留ニテ四近イテ方が良イ

ガラウト云フ様ヲ点セ ~~其標~~

考ヘテシタカラデアリマス

向哈爾濱 錦州 吉林 鄭家屯 ^{齊々哈爾}

打虎山 通遼 等ノ 滿鉄附屬地

4

外ノ地点モ日本ノ永久的ニ占領シユスカ

又日本軍ヲ早急ニ滿鉄附屬地域

内ニテ撤退サセシ計劃ガアリユスカ

答 永久占領ノ意思心ハ全然アリマセン

現在日本軍ガ滿鉄附屬地外ニ駐

セシテ居ルハ敗殘兵・匪賊・不逞分子

等ノ活躍ニ對應スル為メ一時的ノ

便法ニ過ギナイリス

此ウ去ッ地方ハ治中ガ常ニ乱シテ居リ

特ニ住民ノ經濟生活ハ殆んど破滅

ニ瀕シテ居ルニ新政府ノ地方

政權ハ力足ラズシテ治中維持が出

来ナイ 其処ニ皇軍ニ對シテ

之等ヲ撫定シテ治中擁護者

ノ處置ヲシテ實ニタイト要請ガアリタ
譯_レリス 右ノ次ヲ得_レカ_ラ関東軍

ハ其ノ本来ノ任務ニ盡_ミ 斯_レウ_レタ

地方ニ駐~~兵~~ 治中ガ恢復_スル

コテ駐兵スルノ止_リナキニ到_リタ_レ 譯_ル次_ヲ

デス

問 日本軍ガ滿鉄附屬地帯_一カ_ラ早期

撤兵_スニ_ハ意_志ガ_アリ_コス_カ

答 滿鉄附屬地帯_ニ撤兵_ノ意_志

ハ_アリ_コス_ン 附屬地帯_ノ駐兵_ノ條

約_ニ基_クモ_クアリ_コス_ニ 此_ノ同_ノ事

情_ヲ實際_ニ知_ッテ_ア居_ルニ_ハ此_ノナ_リ質

同_ニ起_ラシ_テ用_心ヲ_カ

問 日本軍ハ今度新_シク滿洲ニ出_来

夕 地方自治政權ニ對シテ 無制
限ニ之シテ保護シ 支持ヲ其ヘシ積

リテモカ

合 滿蒙が永遠ノ平和^郷ニシテ

常ニ 日本が最モ熱心ガ希望アリシテ

ガカラ此ウキテ事ヲ目的トスル運動

ニ對シテハ 常ニ好意的デアリス

滿州新政權ガ 日本ノ利益ヲ侵害セズ

ニ三千万民衆ノ為メニ善政ヲ布

キケト努力ヲスル時 之シテ支持スル

ノ人隣邦ノ友誼トシテ 當然ノ事

ト考ヘラズ

向 警察集權ヲ 滿洲匪賊ノ平定

ニ當リテ 日本軍ト協力目的デアリ

ト云フ 張海鵬 馬占山

1

其の也 ~~新~~ 其の指導その支那軍
二対して警察権ヲ季讓し之ヲ

張海鵬 馬占山

~~For Chief of Police Wang Shunshang~~ 其の也が満洲新

政府の指揮に服し從來軍閥

一行に來たヤウチ悪心虚世道ナ

事一ヲセズ立派ニ警察権ヲ行

使ふト云ク信念ヲ具セテ是レシバ

警察権ニ勿論季讓致し之ス

河北満ニ於テ軍事行動今後

モ續キヨリカ

日本軍に從來自衛以外ニ一切

行動しナカッタ 北満に行動せん

トシテモ此ノ範圍ヲ出ス事ハナイト

断言シマス 北満ニ之レヲ

張學良ニ使喚サシテ丁超、李杜
等ノタメニ危險ニ瀕シテ居（張）タリ
多聞師團ニヨリ哈爾濱周
カラ夫等ノ軍隊ガ馳逐サシテ
斷リ其ノ危險ガ去ツタムベキアリ
ガカラ北滿ニ我が軍ニ挑戦ス
武裝軍ガ現レナイ限リハ戰
闘行為ハ無イ訳ナシ

然レ乍ラ日軍閣下ノ軍隊ハ
不逞分子、匪賊群ハ依然トシテ
各所ニ大々的ニ行動ヲ採リ
居リ、我が軍ノ行動ハ必西ナト
スル状況ニアリマス

同 多聞將軍、軍隊ハ哈爾濱

9 / 駐屯スルコトヲ 其レトモ不逞

分子ヲ追フヤ東支鉄道沿線ニ東西
ニ行勅シ或ハ松花江下流ヲ北方ニ
行勅スル事ガアリマスリ

答 我ニ今迄ニ色ニテ ~~悪イ事ヲ~~ 行ハシテ干ル

反吉林軍ノ罪ヲ責ムル積リアリ

即チ彼等ハ我が空軍得後ノ殺

害朝鮮人虐殺並ニ暴行朝鮮

人家ノ焼却日本人所有新聞社ノ北

民報ノ焼却東支鉄道南部支線

沿線 ~~日陸特ニ双城堡~~ 二於テ ~~陸軍~~ 橋

武力抗爭ヲ行ヒマス 併ニ現在主力ヲ以テ

之ヲ追撃スル積リハ無ク

目下 ~~臨時~~ 一時的ニ哈爾濱ニ駐屯中ノ

多聞師團ハ北滿ニ治安ガ恢復スル

ニ干同地居留民ノ保護ニ任ズルヲアラウ

陸相ハ
日本が哈爾濱ヲ占據シ東支鐵道

南部支線ヲ使用並ニ管理權ニヨリ
ソ聯邦

トハ衛安ニシテ危險が増大シ

テ来ント考ヘコセカ

答 右様ナ危險ハ無イト思フ ソ聯邦當局

並ニ東支鐵道管理權ハ我が軍ノ北

滿ニ於ケル行動ノ合法性ヲ率直ニ認メ

終始公正ノ態度ヲ採リ居ラニ事ハ

感謝ノ外ニ無ク

共產主義ノ革命思想ハ日本ノ如ク國家

ニ絶對ニ許容出来ナイモノデアリガ

ソ聯邦ニシテ我が行動ヲ尊重シコレヲ

妨害セザル限リハ東支鐵道ノ權益

ヲ侵シ或ハソ聯邦ノ領域ヲ侵犯スル如ク

事ハ断ジテナイ。又ソ聯邦が最も關心ヲ

示テ居ル処ノ。白系ロシア人ヲ日本が使役

11

シタト云フカキ 非難ハ、早ナル妄想ニ
過リキ。尚一言シタイ事ハ、ハルピン、我ガ
軍ニヨリ占領ハ、一時的、現象デアリ、
車支鉄道南部支線ノ使用ハソ聯政府
ノ積極的同意ニ基クモ、責下ノ負担ニ
言フカキ、我ガ軍ガ同鉄道ヲ管理スルヨリナ
事ハナキ。

同 日本ハ右支線ヲ買収スル 積リマスカ

答 左標ナ積リハ無ク

同 日本ハ車支鉄道全線ノ管理ヲ希望
シマスカ

答 未知ソシテ希望ヲ持ツタ事ハナキ。

同 日本軍ト目下滿洲ニ建設セラレ
ソアル新政府トノ關係ハ如何

答 新政府ハ内ハ国境内三千万民衆
爲ニ善政ヲ敷キ、外ハ世界列國ニ

内戸開放主義ニヨリテ 機會均等ノ

利益ヲ与ヘテ 世界國權群ノ

立派ト一員トシテ 目的トシテ

居ル由ラズル。 滿洲ノ指導者達

ハ、滿洲及ヒ蒙古ノ民衆ヲ搾取シテ

永遠ノ平和ナル理想郷ヲ建設セン

ト、總意ヲ作シテ、新國家建設ニ

邁進シテ居ル。斯クハ如キ、崇高ナル

精神ニ基キテ 努力ヲ阻害セシムル

ト、許シガタキ行爲ナラズ。日本が好意

ヲ表スルノモ亦當然ナラザリ。

吾々ハ、新滿洲政府ガソノ目的ニ

向フテ支障ナク 堅美ナル歩ミヲ

統ケル事ヲ心カラ新ルニテス。

同、滿洲ニ於ケル新制度ノ建設ニ

板垣大佐、土肥原大佐ハ如何ナル

役目ヲ有スルカ。

答 板垣ハ陸軍參謀デ、土肥原ハ

ハルピン市 特務隊隊長ナラズ。

彼等ハ純粋ノ軍事任務以外
何等ノ任務ハナイ。

同

軍部ハ滿蒙ニ新統一自治
(又ハ独立)政府ヲ建設ヲ歡迎シ
マスカ。

答

歡迎シマス。何トシレバカニ政府ハ
^{弊害多キ}旧軍閥政府ヨリ
~~弊害多キ~~遙カニ
スケレタセテアルカラデアル。

同

新國家ハ蒙古ノ如何ナル部分マデ
包含シマスカ、ソ聯ノ支配下ニアル
外蒙古ノ境界マデデスカ。

答

ソレハ新政府ノ決定ニ事テ、私ノ

同

関スル限リテハナイ。
北京奉天
軍部ハ
鐵道中、奉天ノ
山海關ノ部分ヲ如何ニ処理スル精
リヲマスカ。

答

ソレモ新滿洲政府ノ決定スベキ
事ヲアソテ日本側何等ノ容喙スベ
キ事ナクナイ。

紐し、日本トシテハ新滿洲政府ニ對シ
滿蒙ノ鉄道ニ關スル日本ノ既得
權益ヲ充分尊重スル^{トシテ}其志表示
ヲ要求スル事ハ予想カオスル。

向
敦化(吉林—敦化鉄道ノ終末)ト
朝鮮海岸ト向、鉄道ハ何時
建設サシマスカ。

答

明答シガタイ。ニ、鉄道、即チ

吉林—會亭—鐵道ハ一九〇九年

~~明答中~~九月九日向島ニ關スル

日支協約ニテ權利ヲ得タモノナリ

一九一八年~~日本支那~~日本ハ前渡シ

金壹千萬年ヲ渡シ一九二六年~~日本~~

和事~~事~~山東滿鐵總裁ハ鐵道

建設請負契約ヲ締結シテ、

此等、權益ハ旧軍閥政府ニテ

蹂躪^調サレタモノナリ。現在、滿洲事

變突發以前、天堡山—圖們

鐵道ガ日支合辦ヲ完成シタリ。

支那側よりハ 吉林カラ 敦化迄
鉄道カ出来、ソノ 中間ハ 未成部分ハ
敦化—老頭溝、六十七哩ニ過キナイ。
ナル事情故、日本トシテハ 新滿洲
政府ニ 右 鉄道ノ 利権ヲ 認メサセル
事ハ 正當ナリ、 認メサセタスハ
当然 建設ニ 仰リカ、ルコトナラシム。
然レシトシテ、 起工日時、 完成日時
等一切不明ナリ。

尚 現在日本ノ 占據スル 葫蘆島ニ 對シ
支那側ノ 築港計畫ハ 將來如何
ナリトス。

答 此レモ 新政府ノ 決定スベキ事ニ 對シ
日本ノ 喙ヲ スベキ事ゾト 思フ
我が軍ハ 一部隊ヲ 同島ニ 配置シ
テ 警戒 並ニ 居留民 保護ニ
任ジテ 居ルガ、 築港工事ニ 関
スル 全權 容喙セズ 何 分ナリ

干渉已 圧迫已 加へず 居たり

目下工事使用、約三百人、苦力、寒風、夕々水中作業ヲ

中止し 陸上作業之從事し

居心、^今金計盡し、約二割方が完成

サレ居り、^{サレテ}專向家、言ニ依ルバ此、

調子デハ、^{金完成ハ}尚五年ヲ要スル由デアリ

向 上海ニ対し 日本軍ノ企圖ハ

如何シカ

答 日本ノ上海出兵ノ目的ハ、屢々政府聲明

テ示シタ通り、民留民ノ保護ト

數十億之上、財産保護、並ニ之

租界防備ニ関スル日本國際的義

務ヲ果タス為デアリ

若し支那側ハ敵対行為ヲ中止

し或ハ我が軍ノ上記目的遂行、

邪魔ヲシナケシバ 我が軍ハ

軍事行動ニ出デル積リハ無ク

向 日本軍ハ上海ヲ長期ニ亘リ占據

シヨスカ

何

我が軍ヲ来ルガケ早シ撤兵ニ度人
併シ我が軍ハ自衛ノタメ駐屯
コトニ居ルノデアリカラ撤兵ハ支那側

次ヲデアリ

勉々心列国モ軍態ヲ正當ニ
認識シテ国際都市ノ迅速ナル
常態復歸促進ニ協力セラレン

事一ヲ希一治スル

向

陸軍省ハ現在上海ニ出立セル
部隊以外ニ他ノ師團ヲ派遣

スル企圖ヲ有シヨスカ

何

何ト云云ハモシ 今後ハ状況力次
ヲシク

向

上海ノ外何レハ且ニテ作戦行動
ヲ企圖シヨスカ 蕪州ニテテスカ

南京ニテテスカ

答 既ニ說明シテ通リ 日本ハ不祥事
態ノ擴大ヲ防止シ、居留民ノ生命
財產ノ危険ヲ迅速且ツ平和裡
ニ除去シ 同時ニ外國人ニ對シテモ
同様ノ状態ヲ其ノ為ニ派兵シ
タリテアル

事態ノ悪化ハ誰シモ預見シテイザ
若シ之ヲ欲スル者が一人デモアリト
スレバ、其レハ莫、未及ビ他ノ諸国ヲモ
同年ノ渦中ニ引キ入レントノ事
望ミテ 各自強ク抱イテ居ル也、
支那、某軍閥ト中国共産
黨ニ対テアラウ

斯ノ如キ状態故 日本軍が上海

その内して遠く作戦の意圖は無
事、御慰撫がいつと思つ

唯如何なる場合に於て^{日本}国際港の

上海、安全の保障、出来の程度

支那軍が遠距離内^ニ撤退

その事、西女ホスに事、確定

之が外交の涉り、遠慮の

ニヨルが問題、デアワテ、

之に前者、帝、地をスル

支那十九路軍が平和視、撤

退の評定スルカ、否カハ

内、日本が總動員、行フト、

アリマスガ、^{ソウ}ウチウチ、

答、金知、^{ナシ}、斯、如、

20/ ^テアル事、^ハ御承知、

持て貴社ノ如キガ岸上ニ固評ヲ有
信シテ事實ヲ調査モセズニ通信
ヲスル時ハ其ノ社會ヲ毒スル事ト莫
大ナラント思フカ故ニ持て此ノ事
ヲ一知スル

河 滿洲ノ南方及西方且豫地区

劃チ ~~北平~~ 北平 天津地区及ビ

熱河地区ニ對スル軍ノ意圖ハ

如何

如何ニモ考ヘテ居リマセヌ

河右ノ地区或ハ北滿ニ行勅ヲ擴大

スル必要ヲ生ジタ時モ現在ノ兵力

ニテ充分ナカ

河 河下ノ狀態ニ於テサヘモ河下ノ

少

兵力不足が関東軍に
四圍の状況に鑑み現兵力が我糧
に乏しく如何に用兵上困難
を予想し得る場合に雖も未だ
増援を要せしむ事ハ無ク

向上海地方に於ては治安、恢復並に
維持のため日本陸軍派遣部隊

は在上海に列国地上部隊と如何
に程度を以て共同動作を為し得るか

各具体的處置に一切を先司令官に
一任してアル

我が軍に列国協調及び相互扶
助の精神を以て關係各國と共に
上海地方の治平と繁栄とに増進

ヲ圖リ、延テ東洋ノ平和ト福
址トニ工員獻スル事ヲ期待スル
旨以遣軍司令官長ニ希冀
シテ望ミ入り

尙世評ニ依リテ陸軍殊ニ參謀
本部ニ日本ニ軍部独裁政治ヲ
行フ企圖アル由デモガ如何
程度ニテ事實デモカ 又陸軍
ハ内閣ノ政策ヲ左右スル企圖
スカ

答
ソリキテ嚙ム一向知ラチイ

併シ乍ラ東洋ノ平和ガ阻害セラレ
国際信義ガ冒瀆セラレ 我ガ国家及ビ
国民ガ生死ノ巖頭ニ立リ時 我ガ

国特ニ軍部ハ世界ヲ驚愕異共セシ

ル如キ^{軍紀}解~~軍~~ト團結ト~~軍~~トカ

荒揮一スルデアラリ事ト~~軍~~ト~~軍~~

ヲ確信ス

向 日本ヨリ外國へ新聞電報ヲニ

檢閱^{ガアル}結果、外國ニ於テハ上海派

遣、陸軍部隊、兵力並ニ用法ニ

関シ誇大ノ記事ヲ掲~~カ~~シ、日本ノ

目的企圖ニ関シ大ナル疑惑ヲ抱~~ケ~~テ

居~~ス~~。例一ハ日本ハ五箇師團又ハ

拾萬ノ大軍ヲ出動サセヨウトスルトノ

記事ヲ掲~~ケ~~ルセ~~リ~~カ~~ル~~。就~~テ~~ハ正確

ナル数字ヲ公表スル所カ賢明行ハ

カ~~リ~~セ~~シ~~方。又電報檢閲ハ何時迄

継続サレルノ事。尚檢閲ハ其ノ

目的ヲ達シテ、アルト考ヘラレマスカ。

答 派遣兵ノ概數ハ其ノ却テ公表

シテ居ル。作戦用兵ニ関スル事項ハ

何レノ国モ秘密ニ属シ必要ノ時機

ニテ公表ヲセズガ正前ナリ。

虚構誇張ノ報道ヲ傳ヘシムルハ

洵ニ遺憾ナリカ。時日ノ経過ト共ニ

其ノ真相ハ逐次明瞭トナルベシ。

特ニ上海、如キ国際都市ニ

於テハ支那側ノ現ニ爲シワ、アル

如キ去經目ノ宣傳ハ單ニ世人ノ

輿感ヲ買フニ過キ又ナラズ。

電報檢閲ハ陸軍ノ所管ナ

ナイカラ 所答之し兼ふが、戦争のナイ

今度ノ如キ事件ハ、検閲ハ中々

難カシイ事ナ、其ノ目的ハ充分達シ

得ルモノナトイフ思フナ中、但シ一部ニ

漏シタカラトテ、全部ニ発表スルキ

~~不^レカ^レル事~~

モノデアルト云フ事ニハナラナイ